

戦評用紙

大会名	平成29年度山形県高等学校新人体育大会バスケットボール競技
-----	-------------------------------

日時	2018年1月14日13:50～	区分	山形県高校体育連盟
----	------------------	----	-----------

チームA				チームB
羽黒				山形南
94	16	1Q	12	69
	12	2Q	21	
	31	3Q	15	
	35	4Q	21	
		延長		

【戦評】

新チームで迎える最初の県大会決勝は白のユニフォーム羽黒高校と青のユニフォーム山形南高校の対戦となった。白は#4.8.9.10.13青は#4.5.6.8.17がスターティングメンバー。

1Q、白のディフェンスはハーフコートのマンツーマン。青はオールコートでのマンツーマン。白青共に#4を中心にオフェンスを組み立てる。両チームともディフェンスが厳しく、ロースコアの試合展開。白16-12青。

2Q、スタートから青が連続得点。白はメンバーチェンジをしながらリズムを作ろうとする。試合が膠着していた中、白#10のドライブから#12がリバウンドを押さえシュートを決めた所で青が前半1回目のタイムアウト白20-17青。タイムアウト明け、青#9が立て続けに3Pシュートを決め一気に逆転する。対して白は#9.10のスピードあるプレーや#13のリバウンドなどでペースを握らせない一進一退の展開。最後は青#4が3Pを決め白28-33青と青が5点リードして前半を終えた。

3Q、最初にペースを握ったのは白。白#18のドライブで得点を挙げると、#4のドライブから#13への合わせや#9の3Pなど立て続けに得点し逆転。一方青のシュートは入らず、リバウンドを押さえられる展開。3分青が後半1回目のタイムアウト。白35-33青。しかしタイムアウト明けも白のペースが続く。#10のミドルシュートや#9の3P等で得点し点差を広げていく。青はなかなか得点できない。5分を過ぎるまで無得点。5分30秒、青はフリースローでようやく後半最初の得点。しかし白は#9が連続で3Pシュートを決めリードを広げる。青も#9の3Pや#4のドライブなどで食らいつつが、なかなか差を詰めることができない。白59-48青、11点差で3Q終了。

4Q、両チームとも得点を重ねていく一進一退の展開。3分、青にミスが出た所で青が後半2回目のタイムアウト。白64-55青。その後は白がドライブからの合わせなどでペースを握らせず、青は#9や#17の3Pが時折決まるものの、点差は広がっていく。6分、青が後半3回目のタイムアウト。白79-61青。しかしここでもペースを掴み返すことができずに万事休す。最後は白94-69青と、白が25点の差を付けて勝利を収めた。

羽黒高校は長身を生かしたインサイドだけではなく、スピード、アウトサイド、ディフェンスなどバランス良く鍛えられた好チームだった。一方山形南は伝統的な厳しいディフェンスにこれからどれだけ磨きをかけられるかが課題である。好ゲームを繰り広げてくれた両チームに拍手をおりたい。

戦評者

神位 裕介